

INTERVIEW



釧路市西消防署白糠支署

支署長 村山 隆一さん

何においても『初動』が重要だからです。我々も「火事だ!」となったらすぐに動けるよう何度も何度も訓練しています。1分の遅れが生死を分けてしまうことがあるからです。それくらい初動というのは大事だと思っています。

もう一つ「新・避難訓練」が意味するのは「考える」ということだと思います。今回の訓練を通して、何が問題なのか、何が課題なのか、ということを考えるきっかけになればと思っています。5分で外に出られないのはどうしてだろうか、避難バックの中身はこれで良いのか、もし、隣近所の人が家から出てこれなければどうしたらいいのか、そういうことを自分で考えたり、家族や親戚と話し合うことが大事であり、町内

会でも話し合うことで「共助」にもつながっていくと思うのです。私は「自助」と「共助」の間には「ご近助(近所)」という言葉があって、自助の後には、隣近所同士の助け合いが絶対に必要だと思っています。

今、いろいろなところで津波避難タワーの話がありますが、そういったものを整備して「災害に強い町です!」ということも必要なことだとは思いますが、その前にまずは「災害に強い人」をつくるのが重要だと思っています。そのためには、こうした訓練を繰り返す行うとともに、いつ起こるか分からない災害のことを常に頭の隅に置いて生活することが大切だと思います。

我々は、一人の被災者も出たくないと思っていますが「まずは自分の身は自分で守ってください」と言わざるを得ないのが災害です。自分の命は自分で守るために、日頃からの備えをお願いします。

大津波警報が発令された場合、西消防署白糠支署では、消防車で茶路方面へと避難します。まずは自分の命と消防車両を守らなければなりませんので、住民の方々と同じく「自助」から始めるという考えです。ですから、大規模な災害が発生しても消防職員が現場に駆けつけることはできません。

今回「新・避難訓練」を実施しましたが、この訓練はすごく意味のあることだと思っています。なぜなら、



「新・避難訓練」は身支度をして自宅前の道路へ出るまでの訓練です。



「実際に高台まで走って逃げる」と話していましたが、今回の避難訓練に関しては、今回の避難訓練に関しては、

という訓練も必要だとは思いますが、この訓練では走れない、歩けないという人も参加できません。何よりも避難への準備や防災への意識づけにもなりますし、隣近所で避難バックの中身を確認し合うなど、訓練での反省を積み重ねることで、良い方向に進んでいくと思います。とてもいい訓練だと思いますので、次回も参加しようと思っています」と話していただきました。



石黒さんは日頃から災害に備えて避難バックを整理しています。バックの中には、ペットボトル(水)や乾パン、缶詰、ファイヤースターター(着火剤)、ホッカイロ、傘、ティッシュ、トイレトペーパー、紙パンツなどを入れていました。

「新・避難訓練」に参加して

共栄町内会の石黒静司さんは、孫の梨々菜さんと一緒に「新・避難訓練」に参加しました。

石黒さんは「冬場の災害で逃げるとなれば、高齢者だと着込むだけで10分以上かかります。冬用のジャンパーや避難バックなどを事前に準備し、一緒に置いておけば、すぐに着替えて5分以内には自宅から出られます。冬場は、手袋があるかないかというだけでも全然違いますよ」と話していただきました。

「実際に高台まで走って逃げる

「新・避難訓練」共栄町内会の取り組み

共栄町内会(笠原邦夫会長)では、町内会だよりで会員に「新・避難訓練」への参加を呼び掛けました。1回目の訓練日である12月10日(土)は、避難終了後の9時15分を目途に、各班長や役員が共栄町内会の真下副会長宅前に集合し、避難訓練の参加者を報告しました。また、避難できなかった人や、避難するまでに時間がかかった人の把握さらには今回の訓練の改善点や課題などを話し合いました。

役員に「町では、この辺の地域は、旧白糠小学校を避難場所にするよう検討しているということでした。旧白糠小学校が避難場所になれば、町内会としてもありがたいと思っています。避難場所として整備されることが決まれば、いつから使用できるのかなどをお知らせしたい」と説明。また、残る2回の新・避難訓練については「今回以上の参加者となるよう、改めて会員に呼び掛けるとともに、一人一人の状況を把握し、きちんと支援できるように体制づくりをしていきたい」と話していただきました。



上/共栄町内会では、町内会役員が真下副会長宅前に集合し、避難訓練の参加者を報告。下/集まった役員からは「避難時は家のカギをかけるのか」という質問や「自力で避難することができない人たちを、地域でどのように助けるかが課題」といった意見が出されていました。